●実務経験のある教員等による授業科目

ダンス科

	科目	1年	2年	必修の別	授業形式	実務経験の有無の別	実務経験授業の時数
全科共通科目	SHOW!音楽エンタテイメントゼミ	45	45	必修	講義	○	90
	デビュー・就職実務Ⅰ	72		必修	講義		－
	デビュー・就職実務Ⅱ		55	必修	講義		－
	著作権		25	必修	講義		－
	PC実習	54		必修	講義		－
	選択授業	34	34	必修	講義		－
	異文化研究	20	20	必修	講義		－
	イベント制作実習A	151	153	必修	実習	○	304
	イベント制作実習B	298	300	必修	実習	○	598
専門科目	HIPHOP／JAZZ基礎	36	36	必修	実習	○	72
	Choreograph	36	36	必修	実習	○	72
	ダンス基礎	38	38	必修	実習	○	76
	バレエ・コンテ基礎	38	38	必修	実習	○	76
	ダンス基礎／Choreograph	19	19	必修	実習	○	38
	ボディメンテナンス	19	19	必修	実習	○	38
	キッズダンス指導／振付制作実習	34	34	必修	実習	○	68
	フリースタイル	30	30	必修	実習	○	60
合計	総授業時間数	924					
合計	総授業時間数		882				合計
卒業時最少時間		1806					1492

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテイメント専門学校　授業シラバス

科目名	SHOW!音楽エンタテイメントゼミ			実務授業の有無	○
担当講師	永島麻耶（コーディネーター）		講義実施時期	前期・後期	
			必修・選択	必修	
対象学年	1・2	年	総授業時間	45	時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース	

授業概要	日々変化していく音楽・エンタテイメント分野に対し、実際に音楽・エンタテイメント業界企業で仕事をされている方々を毎回特別講師としてお呼びし、オムニバス形式で講義を行う。 講義後は各専攻の学科に対してワークショップなどを行う。 到達目標は、音楽・エンタテイメントに対して、学生が現在の個人的な趣味嗜好を超えた興味関心を持ち、多角的に音楽・エンタテイメントを理解することが出来るようになることである。

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション／特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
2	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
3	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
4	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
5	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
6	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
7	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
8	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
9	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
10	後期開始前イントロダクション／特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
11	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
12	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
13	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
14	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
15	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
16	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
17	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
18	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
19	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出

教科書等	なし 授業形態／遠隔授業のみ実施
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	各回によって経歴が異なるが、各回ごとに音楽・エンタテイメント企業の講師である。 (2022年度例) エイベックス・マネジメント株式会社、コンサートプロモーターズ協会、株式会社コレオグラフィー、合同会社UNITY　等

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテイメント専門学校　授業シラバス

科目名	デビュー・就職実務Ⅰ			実務授業の有無	×
担当講師	早福 俊明		講義実施時期	前期・後期	
			必修・選択	必修	
対象学年	1	年	総授業時間	75	時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース	

授業概要	通年授業展開、且つ社会人常識マナー検定対策、就職対策も含む 基本PPを使用しての授業展開、漢字の読み・カタカナ用語・都道府県等については宿題を課し、メール作成や社外文書の書き方、郵便の出し方などは実際に早福に送らせ、添削指導を行う。また、検定には出ないが消費税の計算や円高円安における海外旅行の影響（ここは後期）についても時間を割いて実施し、社会人常識を身に付ける。 検定は9月に実施し、合格率95．0%を目指す。後期対策授業は22コマを予定

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	動機付け、社会人としてのルールの基本指導①、新潟県について
2	社会人としてのルールの基本指導② 卒後やアルバイトで役に立つ労働法クイズ
3	第1編1章 メールについて①
4	第1編2章 メール発信のフィードバック、送付状の書き方①
5	第1編3章①　送付状の書き方フィードバック 就職につながるフジロック等アルバイト説明
6	第1編3章② 履歴書の書き方指導、前期期末試験（課題提出）について説明
7	第2編2章 特別講師による講義・レポート提出
8	第3編4章 特別講師による講義・レポート提出
9	社会人常識マナー検定対策、模擬試験・指導
10	就職年次生の活動状況からの進路指導 特別講師による講義・レポート提出
11	2級問題から社会人基礎能力指導①　名刺交換・保管など 特別講師による講義・レポート提出
12	2級問題から社会人基礎能力指導② 特別講師による講義・レポート提出
13	ジョブカードを使用した進路先確認① 特別講師による講義・レポート提出
14	ジョブカードを使用した進路先確認② 特別講師による講義・レポート提出
15	履歴書の書き方復習、送付状作成について復習 特別講師による講義・レポート提出
16	後期期末試験（課題提出）について説明、進級時特待の案内 特別講師による講義・レポート提出
17	特別講師による講義・レポート提出
18	特別講師による講義・レポート提出
19	特別講師による講義・レポート提出
20	就活・顔診断セミナー、生活設計、模擬面接・指導

教科書等	社会人常識マナー検定テキスト2・3級 自作プリント 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	前期：課題レポート提出45%、期末課題（試験）提出35%、出席率20% 後期：課題レポート提出30%、期末課題（試験）提出30%、検定結果30%、出席率10% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテイメント専門学校　授業シラバス

科目名	デビュー・就職実務Ⅱ		実務授業の有無	×
担当講師	永島 麻耶 （コーディネーター）	講義実施時期	前期・後期	
		必修・選択	必修	
対象学年	2	年	総授業時間	55	時間
対象学科	全学科	対象コース	全コース	

授業概要	就職又はデビューに向けた実務授業。 目標を設定させ、履歴書の書き方、プロフィールの書き方、ビジネスマナー、リスクマネジメント、企業コンプライアンスなどについて学習する。デビュー・就職の実現に向け随時個別ヒアリングとフォローを実施。 また、学生主体の自主イベントの企画制作も行いプロ活動につなげて行く。

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	アーティスト志望：【目標設定と計画、自覚】2年次初動での目標設定の改め、見直し～計画。 「目標設定シート」の作成。春休み中の活動報告提出。
	就職志望：Ⅰ【目標設定と計画、自覚】2年次初動での目標設定の改め、見直し～計画。 「目標設定シート」の作成。春休み中の活動報告提出。
2	アーティスト志望：「目標設定シート」フィードバック。企業研究。目標について個別ヒアリング面談
	就職志望：「目標設定シート」フィードバック。企業研究。目標について個別ヒアリング面談
3	アーティスト志望：現状プロフィールシートの更新。確認と再作成
	就職志望：履歴書作成（基本的な作成/志望動機/自己PRなど）
4	アーティスト志望：プロフィールシートの提出
	就職志望：履歴書作成（基本的な作成/志望動機/自己PRなど）と提出
5	アーティスト志望：プロフィールシートの添削フィードバック
	就職志望：履歴書・必要書類の添削フィードバック
6	アーティスト志望：①【活動報告書】の作成と提出
	就職志望：①【活動報告書】の作成と提出
7	アーティスト志望：①【活動報告書】を踏まえ個別ヒアリング面談
	就職志望：①【活動報告書】を踏まえ個別ヒアリング面談
8	アーティスト志望：オーディション対策（自己PRの練習）
	就職志望：面接対策（自己PR、志望動機の練習）
9	アーティスト志望：個別面談・フィードバック
	就職志望：個別面談・フィードバック
10	アーティスト志望：【目標設定の見直し】目標設定の振り返り～再設定など
	就職志望：【目標設定の見直し】目標設定の振り返り～再設定など
11	アーティスト志望：目標について個別ヒアリング面談（未決定者フォロー）
	就職志望：目標について個別ヒアリング面談（未決定者フォロー）
12	アーティスト志望：：②【活動報告書】の作成と提出
	就職志望：②【活動報告書】の作成と提出
13	アーティスト志望：②【活動報告書】を踏まえ個別ヒアリング面談
	就職志望：②【活動報告書】を踏まえ個別ヒアリング面談
14	アーティスト志望：現状プロフィールシートの更新。確認と再作成
	就職志望：②面接対策（自己PR、志望動機の練習）
15	アーティスト志望：プロフィールシートの提出
	就職志望：未内定者個別面談・フィードバック/ビジネスマナー（内定者）
16	アーティスト志望：プロフィールシートの添削フィードバック
	就職志望：未内定者個別面談・フィードバック/ビジネスマナー（内定者）
17	アーティスト志望：オーディション対策（企業リサーチ、自己PR、具体的な内容を踏まえ個別指導）
	就職志望：未内定者個別面談・フィードバック/ビジネスマナー（内定者）
18	アーティスト志望：オーディション対策（企業リサーチ、自己PR、具体的な内容を踏まえ個別指導）
	就職志望：未内定者個別面談・フィードバック/ビジネスマナー・生活設計シート作成（内定者）
19	アーティスト志望：オーディション対策（企業リサーチ、自己PR、具体的な内容を踏まえ個別指導）
	就職志望：未内定者個別面談・フィードバック/ビジネスマナー・生活設計シート作成（内定者）

教科書等	なし 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	テスト成果70%、取り組み姿勢30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	なし

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテイメント専門学校　授業シラバス

科目名	著作権			実務授業の有無	×
担当講師	梅川　洸平		講義実施時期	前期	
			必修・選択	必修	
対象学年	2	年	総授業時間	25	時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース	

授業概要	音楽・エンタテイメント業界で活躍するための著作権の知識の吸収と、著作権検定BASICの合格を目指す。 自作PPとテキストを使用しすることで理解度アップ目指す。且つ模擬問題の解説でより深く知識の吸収を目指す。最終時間は業界から特別講師招いて、身近な生活と著作権の権利の関係を知ってもらう。

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	動機付け、DVD視聴＆解説
2	Ｘ章・Ⅰ章 対策授業　PPを使用して重要点の理解度向上
3	Ⅱ章・Ⅲ章 対策授業　PPを使用して重要点の理解度向上
4	Ⅳ章・Ⅴ章 対策授業　PPを使用して重要点の理解度向上
5	Ⅵ章・Ⅶ章 対策授業　PPを使用して重要点の理解度向上
6	Ⅷ章・Ⅸ章 対策授業　PPを使用して重要点の理解度向上
7	模擬問題①②の実施及び解説
8	模擬問題③④の実施及び解説
9	模擬問題⑤の実施及び解説、特別講師による講義・レポート提出

教科書等	テキスト及びDVD（著作権情報センター借用） 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	模擬問題35%、検定結果35%、出席率20%、授業態度10% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテイメント専門学校　授業シラバス

科目名	PC実習			実務授業の有無	×
担当講師	早福 俊明		講義実施時期	前期・後期	
			必修・選択	必修	
対象学年	1	年	総授業時間	54	時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース	

授業概要	社会で使用且つ必要されているWord、Excelソフトを使いこなせる能力をテキストや問題集をこなすことで慣れさせ、技術を身に付ける。その確認としてそれぞれ検定の3級合格を目指す。

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	Word対策動機付け テキストを使用して重点項目を実施
2	テキストを使用して重点項目を実施 練習問題①②
3	模擬試験①～③
4	模擬試験④～⑥
5	模擬試験⑦、サンプル問題
6	Excel対策動機付け テキストを使用して重点項目を実施
7	テキストを使用して重点項目を実施 練習問題①②
8	模擬試験①～③
9	模擬試験④～⑥
10	模擬試験⑦、サンプル問題

教科書等	テキスト・問題集（Word・Excel共に） 自作のプリント 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	検定結果70%、授業態度10%、出席率20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテイメント専門学校　授業シラバス

科目名	選択授業			実務授業の有無	×
担当講師	永島麻耶（コーディネーター）		講義実施時期	前期・後期	
			必修・選択	必修	
対象学年	1・2	年	総授業時間	34	時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース	

授業概要	本校では自身の専攻学科以外の科目を学べるよう「選択授業」を設定している。 科目数は毎年約30科目ほどである。 各学科の専攻の授業を中心に授業展開がなされ、学生が他専攻の授業を学ぶことによって、幅広い知識・技術を身につけ、自身の将来に生かしていくことを目的とする。

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	前期イントロダクション　各授業開始※各科目によって異なる
2	各科目による
3	各科目による
4	各科目による
5	各科目による
6	各科目による
7	各科目による
8	各科目による
9	前期評価　各科目による
10	後期イントロダクション　各授業開始※各科目によって異なる
11	各科目による
12	各科目による
13	各科目による
14	各科目による
15	各科目による
16	各科目による
17	各科目による
18	各科目による
19	後期評価　各科目による

教科書等	※各科目による 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	※各科目によって異なる 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテイメント専門学校　授業シラバス

科目名	異文化研究			実務授業の有無	×
担当講師	早福 俊明		講義実施時期	後期	
			必修・選択	必修	
対象学年	1・2	年	総授業時間	20	時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース	

授業概要	音楽やエンタメを仕事にしていくにあたり、広い視野を持つことが非常に重要である。 海外の異文化研究を行い、海外の文化等を学ぶことで、自身の視野を広げ、プロデビュー・プロ活動・専門職就職に活かしていく。またパワーポイントでプレゼンを行うことで発表力・企画力を身に付ける。

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション　チーム分け　研究国決定
2	研究①　PP作成
3	研究②　PP作成
4	研究③　PP作成
5	各チーム研究成果発表・自己評価・他己評価

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	成果発表内容60%、取り組み姿勢20%、出席率20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテイメント専門学校　授業シラバス

科目名	イベント制作実習A			実務授業の有無	○
担当講師	永島麻耶（コーディネーター）		講義実施時期	前期	
			必修・選択	必修	
対象学年	1	年	総授業時間	151	時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース	

授業概要	前期に学んだ集大成として、野外フェスを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション　各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作（会場仕込み・サウンドチェック・場当たり　等）
15	本番日①（リハーサル・ゲネプロ・本番）
16	本番日②（リハーサル・ゲネプロ・本番）
17	フィードバック・反省会

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「合同会社UNITY」　等

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテイメント専門学校　授業シラバス

科目名	イベント制作実習B			実務授業の有無	○
担当講師	永島麻耶（コーディネーター）		講義実施時期	後期	
			必修・選択	必修	
対象学年	1	年	総授業時間	298	時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース	

授業概要	後期に学んだ集大成として、ホールコンサートを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション　各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作（仮会場リハーサル①）
15	各専攻ステージ制作
16	各専攻ステージ制作
17	各専攻ステージ制作
18	各専攻ステージ制作
19	各専攻ステージ制作
20	各専攻ステージ制作（仮会場リハーサル②）
21	各専攻ステージ制作
22	各専攻ステージ制作
23	各専攻ステージ制作
24	各専攻ステージ制作
25	各専攻ステージ制作
26	各専攻ステージ制作
27	各専攻ステージ制作
28	各専攻ステージ制作（新潟市民プラザリハーサル①）
29	各専攻ステージ制作
30	各専攻ステージ制作
31	各専攻ステージ制作
32	各専攻ステージ制作
33	各専攻ステージ制作（新潟市民プラザリハーサル②）
34	各専攻ステージ制作（新潟市民プラザリハーサル③）
35	各専攻ステージ制作
36	各専攻ステージ制作
37	各専攻ステージ制作
38	各専攻ステージ制作
39	各専攻ステージ制作（会場仕込み・サウンドチェック・場当たり　等）
40	各専攻ステージ制作（リハーサル・ゲネプロ）
41	各専攻ステージ制作（本番）
42	フィードバック・反省会

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「合同会社UNITY」 等

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテイメント専門学校　授業シラバス

科目名	イベント制作実習A			実務授業の有無	○
担当講師	永島麻耶（コーディネーター）		講義実施時期	前期	
			必修・選択	必修	
対象学年	2	年	総授業時間	153	時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース	

授業概要	前期に学んだ集大成として、野外フェスを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション　各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作（会場仕込み・サウンドチェック・場当たり　等）
15	本番日①（リハーサル・ゲネプロ・本番）
16	本番日②（リハーサル・ゲネプロ・本番）
17	フィードバック・反省会

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「合同会社UNITY」　等

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテイメント専門学校　授業シラバス

科目名	イベント制作実習B			実務授業の有無	○
担当講師	永島麻耶（コーディネーター）		講義実施時期	後期	
			必修・選択	必修	
対象学年	2	年	総授業時間	300	時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース	

授業概要	後期に学んだ集大成として、ホールコンサートを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション　各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作（仮会場リハーサル①）
15	各専攻ステージ制作
16	各専攻ステージ制作
17	各専攻ステージ制作
18	各専攻ステージ制作
19	各専攻ステージ制作
20	各専攻ステージ制作（仮会場リハーサル②）
21	各専攻ステージ制作
22	各専攻ステージ制作
23	各専攻ステージ制作
24	各専攻ステージ制作
25	各専攻ステージ制作
26	各専攻ステージ制作
27	各専攻ステージ制作
28	各専攻ステージ制作（新潟市民プラザリハーサル①）
29	各専攻ステージ制作
30	各専攻ステージ制作
31	各専攻ステージ制作
32	各専攻ステージ制作
33	各専攻ステージ制作（新潟市民プラザリハーサル②）
34	各専攻ステージ制作（新潟市民プラザリハーサル③）
35	各専攻ステージ制作
36	各専攻ステージ制作
37	各専攻ステージ制作
38	各専攻ステージ制作
39	各専攻ステージ制作（会場仕込み・サウンドチェック・場当たり　等）
40	各専攻ステージ制作（リハーサル・ゲネプロ）
41	各専攻ステージ制作（本番）
42	フィードバック・反省会

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「合同会社UNITY」 等

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテイメント専門学校　授業シラバス

科目名	HIPHOP/JAZZ基礎			実務授業の有無	○
担当講師	MAYU		講義実施時期	前期・後期	
			必修・選択	必修	
対象学年	1・2	年	総授業時間	36	時間
対象学科	ダンス科		対象コース	全コース	

授業概要	①スキルチェック②各週で振り付けを渡して、その振り付けに対するテーマを自分で付ける③ルーティンで基礎を学ぶダンサーとして生きていくには？を常に生徒に考えさせ、1年を通して必要なスキル、人間性、考える力、行動力、創造力、カリスマ性を身につけられるようなレッスン組み。

授業計画

回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	スキルチェック(1限JAZZ・2限HIPHOP)それぞれ基礎が入った振り付けを行う
2	スキルチェックを踏まえて1人1人に対してのこれから伸ばしていく部分を伝え、前回の振り付けを確認していく
3	1限ストレッチとトレーニング 2限振り付け(次週までにテーマをつけて踊り込んで来てもらう)
4	1限ストレッチ、ターン&ジャンプ 2限振り付けとテーマを披露
5	1限ストレッチとトレーニング 2限振り付け(リーダーを決めて、次週までにチームごとの構成をつけてくる)
6	1限ストレッチ、ターン&ジャンプ 2限各チーム毎の披露
7	1限基礎トレーニング 2限作品練習
8	作品練習
9	作品練習
10	全員に同じテーマを与え、それに沿った作品を次週までに作ってきてもらう。1人作品
11	基礎トレーニング・作品披露(この作品の中で良かった2人の作品を、チーム分けをして作品として練習)
12	基礎トレーニング・作品披露
13	みんなでひとつの作品を創り上げる
14	みんなでひとつの作品を創り上げる
15	みんなでひとつの作品を創り上げる
16	みんなでひとつの作品を創り上げる
17	みんなでひとつの作品を創り上げる
18	作品完成

教科書等	なし
成績評価	授業態度および学習意欲80%、ダンススキル審査10%、表現力10% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	street dance of china season4 出場、DANCE PRESENTATION UNITYスタッフ・インストラクター、CHIBI UNITY指導、SUGA DANCE INNOVATIONインストラクター、JRA新潟 競馬場CM出演、2016、2017 JDAC全日本ダンス教育指導者指導技術コ ンクールゲスト出演、HILTY＆BOSH 20th anniversary ASIA live Will 出演

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテイメント専門学校　授業シラバス

科目名	Choreograph			実務授業の有無	○
担当講師	小川　七星		講義実施時期	前期・後期	
			必修・選択	必修	
対象学年	1・2	年	総授業時間	36	時間
対象学科	ダンス科		対象コース	全コース	

授業概要	ヒップホップでは基礎であるリズムキープやアイソレーションを身につけ、振り付けで応用しつつ自分の個性を身につけるクラス。 ジャズでは基礎であるジャズポジションやウォーキングを身につけ、振り付けで応用しつつ主に女性らしいスタイルを学ぶ

授業計画

回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	HIPHOP：ストレッチ→体幹トレーニング→筋トレ→リズムキープ→アイソレーション→コンビネーション
2	HIPHOP：ストレッチ→体幹トレーニング→アイソレーション→リズムキープ→基礎を応用したHIPHOP振り付け
3	HIPHOP：ストレッチ→体幹トレーニング→アイソレーション→リズムキープ→基礎を応用したHIPHOP振り付け
4	HIPHOP：ストレッチ→体幹トレーニング→アイソレーション→リズムキープ→基礎を応用したHIPHOP振り付け
5	HIPHOP：ストレッチ→体幹トレーニング→アイソレーション→リズムキープ→基礎を応用したHIPHOP振り付け
6	HIPHOP：ストレッチ→体幹トレーニング→アイソレーション→リズムキープ→基礎を応用したHIPHOP振り付け
7	HIPHOP：ストレッチ→体幹トレーニング→アイソレーション→リズムキープ→基礎を応用したHIPHOP振り付け
8	HIPHOP：ストレッチ→体幹トレーニング→アイソレーション＋リズムキープ(課題を出す)→基礎を応用したHIPHOP振り付け
9	HIPHOP：ストレッチ→体幹トレーニング→アイソレーション＋リズムキープ(課題チェック)→振り付けを落とし自由に踊ってもらう
10	HIPHOP：ストレッチ→体幹トレーニング→筋トレ→リズムキープ→アイソレーション→コンビネーション
11	HIPHOP：ストレッチ→体幹トレーニング→アイソレーション→リズムキープ→基礎を応用したHIPHOP振り付け
12	HIPHOP：ストレッチ→体幹トレーニング→アイソレーション→リズムキープ→基礎を応用したHIPHOP振り付け
13	HIPHOP：ストレッチ→体幹トレーニング→アイソレーション→リズムキープ→基礎を応用したHIPHOP振り付け
14	HIPHOP：ストレッチ→体幹トレーニング→アイソレーション→リズムキープ→基礎を応用したHIPHOP振り付け
15	HIPHOP：ストレッチ→体幹トレーニング→アイソレーション→リズムキープ→基礎を応用したHIPHOP振り付け
16	HIPHOP：ストレッチ→体幹トレーニング→アイソレーション→リズムキープ→基礎を応用したHIPHOP振り付け
17	HIPHOP：ストレッチ→体幹トレーニング→アイソレーション→リズムキープ→基礎を応用したHIPHOP振り付け
18	HIPHOP：ストレッチ→体幹トレーニング→アイソレーション＋リズムキープ(課題を出す)→基礎を応用したHIPHOP振り付け
19	HIPHOP：ストレッチ→体幹トレーニング→アイソレーション＋リズムキープ(課題チェック)→振り付けを落とし自由に踊ってもらう

教科書等	なし
成績評価	授業態度および学習意欲80%、ダンススキル審査10%、表現力10% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	・VIBE Jrs Dance Competition3連覇・Body Rock Jrs2018 3rd place・2020 WORLD of DANCE出場・street dance of china season4 出場・国民文化祭出演

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテイメント専門学校　授業シラバス

科目名	ダンス基礎			実務授業の有無	○
担当講師	後藤　鈴奈		講義実施時期	前期・後期	
			必修・選択	必修	
対象学年	1・2	年	総授業時間	38	時間
対象学科	ダンス科		対象コース		

授業概要	ダンスの軸となる基礎レッスンを行う

授業計画

回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	リズムトレーニング（アップ→ダウン） アイソレーション
2	リズムトレーニング（アップ→ダウン） アイソレーション
3	リズムトレーニング（アップ→ダウン→前ノリ→後ノリ→横ノリ） アイソレーション
4	リズムトレーニング（アップ→ダウン→前ノリ→後ノリ→横ノリ） アイソレーション
5	リズムトレーニング（アップ→ダウン→前ノリ→後ノリ→横ノリ） アイソレーション
6	基礎を応用した振り落とし（前期課題）
7	前期課題の復習&練習
8	前期課題発表
9	リズムトレーニング（アップ→ダウン） アイソレーション
10	リズムトレーニング（アップ→ダウン） アイソレーション
11	リズムトレーニング（アップ→ダウン→前ノリ→後ノリ→横ノリ） アイソレーション
12	リズムトレーニング（アップ→ダウン→前ノリ→後ノリ→横ノリ） アイソレーション
13	リズムトレーニング（アップ→ダウン→前ノリ→後ノリ→横ノリ） アイソレーション
14	基礎をメインとした振り落とし
15	基礎をメインとした振り落とし
16	基礎をメインとした振り落とし
17	中級者レベルの振り落とし（後期課題）
18	後期課題の復習&練習
19	後期課題発表

教科書等	なし
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	2017年　vibe dance competition jr 優勝 2018年　Body rock 3位 2019年　東方神起Live tour tomorrow オープニングパフォーマンス vibe dance competition jr 二連覇 第34回国民文化祭・新潟2019 天皇陛下　御前演舞 2020年　vibe dance competition jr 3連覇 2021年　NBC world of dance movie competition 優勝

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテイメント専門学校　授業シラバス

科目名	バレエ・コンテ基礎			実務授業の有無	○
担当講師	瀬倉　凜		講義実施時期	前期・後期	
			必修・選択	必修	
対象学年	1・2	年	総授業時間	38	時間
対象学科	ダンス科		対象コース	全コース	

授業概要	基礎の必要性を生徒たちに伝えダンスのベースとなる軸づくり、体作りを強化。 BALLETの一つひとつの技を習得する・発見する瞬間を生み出せるよう、技を動きだけでなく、 理論的な説明を踏まえて説明。 何回か同じ内容でクラスをし、練習する習慣づけ、最終それをチェックしていく時間を作る。 一人一人が基礎に向き合い、出来るようになる楽しさを伝えていく。 最終的にインストラクターとしてBALLETを指導できるように教え方も指導していく。

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション、授業の趣旨・意義、今後のスケジュール等の説明。 「講師自己紹介」この自己紹介を通して具体的にどのように成長したいか、自分の中での決意と目標を理解し合う。
2	ストレッチ&トレーニング(踊る上で必要不可欠な体づくり、柔軟) ①トレーニング ②ストレッチ ③プリエ強化
3	(1)BALLET基礎(BALLETの基本的な技の習得) ①トレーニング ②ストレッチ ③プリエ強化+バーレッスン1
4	(1)BALLET基礎(BALLETの基本的な技の習得) ①トレーニング ②ストレッチ ③プリエ強化+バーレッスン1
5	(1)のチェック・アドバイス 生徒にその内容を指導してもらう
6	(2)BALLET基礎(BALLETの基本的な技の習得) ①トレーニング ②ターン ③出来る様になるプロセスを説明、練習
7	(2)BALLET基礎(BALLETの基本的な技の習得) ①トレーニング ②ターン ③出来る様になるプロセスを説明、練習
8	(2)のチェック・アドバイス 生徒にその内容を指導してもらう
9	(3)BALLET基礎(アダージオ、バーなしセンターレッスンの習得) ①ストレッチ ②ジャンプ ③出来る様になるプロセスを説明、練習
10	(3)BALLET基礎(アダージオ、バーなしセンターレッスンの習得) ①ストレッチ ②ジャンプ ③出来る様になるプロセスを説明、練習
11	(3)のチェック・アドバイス 生徒にその内容を指導してもらう
12	(4)習得した技を応用(クロワゼ、フロアの端から動きを入れ速さに対応できるようにする) ①トレーニング ②クロワゼ ③出来る様になるプロセスを説明、練習
13	(4)習得した技を応用(クロワゼ、フロアの端から動きを入れ速さに対応できるようにする) ①トレーニング ②クロワゼ ③出来る様になるプロセスを説明、練習
14	(4)のチェック・アドバイス 生徒にその内容を指導してもらう
15	(5)BALLETの基本のパを一つ取り上げそれを習得 ①ストレッチ ②パの習得 ③出来る様になるプロセスを説明、練習
16	(5)BALLETの基本のパを一つ取り上げそれを習得 ①ストレッチ ②パの習得 ③出来る様になるプロセスを説明、練習
17	(5)のチェック・アドバイス 生徒同士で指導し合う機会を作る(自分が教えられるパを作成)
18	生徒同士で指導し合う機会を作る(製作したパを実際に指導①)
19	生徒同士で指導し合う機会を作る(製作したパを実際に指導②)

教科書等	なし
成績評価	授業態度および学習意欲80%、ダンススキル審査20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	・2017.11.14 VIBE DANCE COMPETITION JRS 優勝 ・2018.2.3 VIBE DANCE COMPETITION EXHIBITION 出演 ・2018.6.30 BODY ROCK COMPETITION JRS 三位 ・2019.1.19 東方神起LIVE TOUR TOMORROW オープニングパフォーマンス ・2019.2.10 VIBE DANCE COMPETITION JRS 優勝(二連覇) ・2019.3.31VIBE DANCE COMPETITION EXHIBITION 出演 ・2019.9.15第34回国民文化祭・新潟2019天皇陛下御前演

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテイメント専門学校　授業シラバス

科目名	ダンス基礎／Choreograph			実務授業の有無	○
担当講師	儀間鴻太		講義実施時期	前期・後期	
			必修・選択	必修	
対象学年	1・2	年	総授業時間	19	時間
対象学科	ダンス科		対象コース	全コース	

授業概要	スタイルヒップホップというジャンルで特徴は曲の歌詞や世界観のイメージを表現するのが主です。それを踏まえつつR&B曲を使った踊りで感情を表せるような振り付けを作成し生徒にそれを自分なりに表現してもらい僕からもアドバイスをするながれです。

授業計画

回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	スタイルヒップホップはどういう踊りなのかを説明して動画を2、3個見て学ぶ。その後スタイルヒップホップに必要なヒップホップ、ジャズ基礎を学ぶ。①ヒップホップ基礎②ジャズ基礎③筋トレ
2	前回の復習＋見せ方(角度)を学ぶ。①ヒップホップ基礎②ジャズ基礎
3	前回の復習＋リズム取り(ダウンのリズム)①ヒップホップ基礎②ジャズ基礎③筋トレ
4	前回の復習＋リズム取り(アップのリズム)①ヒップホップ基礎②ジャズ基礎③筋トレ
5	前回の復習＋スタイルヒップホップ振り付け①ヒップホップ基礎②振り付け
6	前回の復習①ヒップホップ②振り付け
7	ストレッチ＋振り付け
8	前回の復習＋振り付けを1分ほど進める
9	前回の復習＋実際に動画を取り、自分がどう表現できてるかを確認
10	ストレッチ＋リズム取り(ダウンのリズム)＋応用
11	前回の復習＋リズム取り(アップのリズム)＋応用
12	前回の復習＋フリースタイル講義
13	ストレッチ＋前回の復習
14	ストレッチ＋振り付け
15	ストレッチ＋前回の復習＋一人一人ピックアップして全員でみる
16	ストレッチ＋たりない基礎のレッスン
17	ストレッチ＋1.2分の振り付けをする
18	前回の復習
19	振り付けの撮影

教科書等	教科書はなし。 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	授業態度および学習意欲80%、ダンススキル審査10%、表現力10% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	UNTIYダンス舞台　2回出演 UNITY ONLINE 舞台 出演 SUGA×SHOW!動画プロジェクト（撮影、動画編集、振り付け） San Diego留学（三ヶ月） 2023世界大会VIBE DANCE COMPETITION　Adult部門　優勝

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテイメント専門学校　授業シラバス

科目名	ボディメンテナンス			実務授業の有無	○
担当講師	儀間　鴻太		講義実施時期	前期・後期	
			必修・選択	必修	
対象学年	1・2	年	総授業時間	19	時間
対象学科	ダンス科		対象コース	全コース	

授業概要	ダンサーは身体と心が健康でなければ人に影響を与えられません。 健康でいるための知識と実力を学ぶ授業をテーマにし、一番は生徒とのコミュニケーションを大切にする時間とする 基本体つくりは知識と経験が必要不可欠の為、座学ではない限り3回を目安に指導を行い、その後は生徒の体調を判断して授業の選択を行う。生徒一人一人の生活習慣や家庭環境も把握し適切なアドバイスを行う。

授業計画

回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	『ストレッチ』柔軟性を重視したメニューを作成。身体が硬い事は怪我にも繋がりやすく上達の妨げとなる為一番最初に指導する。その他の授業でも行うがこちらの授業では一人一人の使い方も指導し、確実に柔らかくするように指導を行う
2	『ストレッチ』柔軟性を重視したメニューを作成。身体が硬い事は怪我にも繋がりやすく上達の妨げとなる為一番最初に指導する。その他の授業でも行うがこちらの授業では一人一人の使い方も指導し、確実に柔らかくするように指導を行う
3	『トレーニング』主に身体の筋力量を増やすことを目的とした授業メニューの作成。ダンサーに特に必要な筋力の箇所を教え、やり方を具体的に指導して行く。やり方一つで効力が左右する為、効果的かつ理解の早いメニューを作成
4	『トレーニング』主に身体の筋力量を増やすことを目的とした授業メニューの作成。ダンサーに特に必要な筋力の箇所を教え、やり方を具体的に指導して行く。やり方一つで効力が左右する為、効果的かつ理解の早いメニューを作成
5	『体幹トレーニング』ダンスで一番大切だと言われている体幹の授業。物理的に左右する力の利用方法や、軸の拡大を目的としたメニューの作成。ダンサーにとって一番利用できる自主トレーニングも指導
6	『体幹トレーニング』ダンスで一番大切だと言われている体幹の授業。物理的に左右する力の利用方法や、軸の拡大を目的としたメニューの作成。ダンサーにとって一番利用できる自主トレーニングも指導
7	『ダンストレーニング』筋力が上がった頃を見計らってスタートする増えた筋力をダンスに活かすトレーニング筋トレとダンスの中間。主に体幹を使えるようにし増えた筋力の使い方、ダンスへの繋げ方を指導する。
8	『ダンストレーニング』筋力が上がった頃を見計らってスタートする増えた筋力をダンスに活かすトレーニング筋トレとダンスの中間。主に体幹を使えるようにし増えた筋力の使い方、ダンスへの繋げ方を指導する。
9	『バレエトレーニング』全てのダンスの基礎を利用し、軸、バランス、筋力、体幹の使い方、柔軟性の使い方を指導する。ダンスの基礎力トータルアップを目的として知識、考える力、発見する力も身につける。
10	『マッサージ』使ったらその体を癒す、身体のケアの仕方を学ぶ。知識として理解し、その後は仲間同志でケアをできるように実践をつむ。怪我の防止とダンス力アップの効率化、体調面のバランスをこの授業でとり、リラックスをする
11	『怪我メンテナンス』ダンサーに怪我は隣り合わせ。怪我をした際の応急処置や、怪我の防止方法を指導する、
12	『怪我メンテナンス』ダンサーに怪我は隣り合わせ。怪我をした際の応急処置や、怪我の防止方法を指導する、
13	『食』ダンサーの身体を作る食に関しての授業。肉体改造に効率的な食生活、食材や、無理のないダイエット方法、ダンサーの身体へと近づける食生活を指導する。
14	『食』ダンサーの身体を作る食に関しての授業。肉体改造に効率的な食生活、食材や、無理のないダイエット方法、ダンサーの身体へと近づける食生活を指導する。
15	『食』ダンサーの身体を作る食に関しての授業。肉体改造に効率的な食生活、食材や、無理のないダイエット方法、ダンサーの身体へと近づける食生活を指導する。
16	『食』ダンサーの身体を作る食に関しての授業。肉体改造に効率的な食生活、食材や、無理のないダイエット方法、ダンサーの身体へと近づける食生活を指導する。
17	『骨理論』身体を支えているのは骨であり、筋肉はそれを補うもの。骨の使い方をより深く理解して、身体に負担のないダンスの仕方、身体の使い方を理解する。
18	『骨理論』身体を支えているのは骨であり、筋肉はそれを補うもの。骨の使い方をより深く理解して、身体に負担のないダンスの仕方、身体の使い方を理解する。
19	『マッサージ』『怪我メンテナンス』実技この実技を通して評価基準とする。

教科書等	なし
成績評価	授業態度および学習意欲80%、理解度20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	UNTIYダンス舞台　2回出演 UNITY ONLINE 舞台 出演 SUGA×SHOW!動画プロジェクト（撮影、動画編集、振り付け） San Diego留学（三ヶ月）

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテイメント専門学校　授業シラバス

科目名	キッズダンス指導／振付制作実習			実務授業の有無	○
担当講師	儀間鴻太		講義実施時期	前期・後期	
			必修・選択	必修	
対象学年	1・2	年	総授業時間	34	時間
対象学科	ダンス科		対象コース	ダンスインストラクターコース	

授業概要	日和山小学校クラブ活動の一環としてダンスレッスンを行う。 小学校4～6年生を対象に、文化祭で披露するダンスの振付・構成・レッスンを行う。 この授業で、ダンスインストラクターを経験する。 ※小学校へのレッスンは小学校の年間スケジュールにより変動する。

授業計画

回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	授業内容の説明と動機づけ。 初回レッスンの内容を相談する。(ストレッチの流れ)
2	1人3項目づつ、ストレッチの説明を行う。 フィードバックを加え、実際のレッスンメニューを組み立てる。
3	前回の続き
4	1回目小学校レッスン（目標/曲決め）
5	チーム分けをおこない、2曲の音源編集と振付を行う。
6	2曲の振付を行う。
7	2回目小学校レッスン(ストレッチ/振付指導) ※担当グループのみ
8	レッスン内容の修正と振付創作。
9	レッスン内容の修正と振付創作。
10	本番までにやってほしいことの確認。 レッスンの内容を決め。
11	4回目小学校レッスン フィードバック
12	5回目小学校レッスン フィードバック
13	6回目小学校レッスン (動画対応→imovieを使用しての動画編集)
14	7回目小学校レッスン フィードバック
15	8回目小学校レッスン フィードバック
16	9回目小学校レッスン フィードバック
17	発表会
18	小学生と本番の感想発表/フィードバック
19	ストレッチ 1時間でできる簡単な振り付けを指導。

教科書等	教書はなし。 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	授業態度および学習意欲70%、指導力15%、協調性15% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	UNTIYダンス舞台　2回出演 UNITY ONLINE 舞台 出演 SUGA×SHOW!動画プロジェクト（撮影、動画編集、振り付け） San Diego留学（三ヶ月） 2023世界大会VIBE DANCE COMPETITION　Adult部門　優勝

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテイメント専門学校　授業シラバス

科目名	フリースタイル			実務授業の有無	○
担当講師	MAYU		講義実施時期	前期・後期	
			必修・選択	必修	
対象学年	1・2	年	総授業時間	30	時間
対象学科	ダンス科		対象コース	全コース	

授業概要	①スキルチェック②各週で振り付けを渡して、その振り付けに対するテーマを自分で付ける③ルーティンで基礎を学ぶダンサーとして生きていくには？を常に生徒に考えさせ、1年を通して必要なスキル、人間性、考える力、行動力、創造力、カリスマ性を身につけられるようなレッスン組み。

授業計画

回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	スキルチェック(1限JAZZ・2限HIPHOP)それぞれ基礎が入った振り付けを行う
2	スキルチェックを踏まえて1人1人に対してのこれから伸ばしていく部分を伝え、前回の振り付けを確認していく
3	1限ストレッチとトレーニング 2限振り付け(次週までにテーマをつけて踊り込んで来てもらう)
4	1限ストレッチ、ターン&ジャンプ 2限振り付けとテーマを披露
5	1限ストレッチとトレーニング 2限振り付け(リーダーを決めて、次週までにチームごとの構成をつけてくる)
6	1限ストレッチ、ターン&ジャンプ 2限各チーム毎の披露
7	1限基礎トレーニング 2限作品練習
8	作品練習
9	作品練習
10	全員に同じテーマを与え、それに沿った作品を次週までに作ってきてもらう。1人作品
11	基礎トレーニング・作品披露(この作品の中で良かった2人の作品を、チーム分けをして作品として練習)
12	基礎トレーニング・作品披露
13	みんなでひとつの作品を創り上げる
14	みんなでひとつの作品を創り上げる
15	みんなでひとつの作品を創り上げる
16	みんなでひとつの作品を創り上げる
17	みんなでひとつの作品を創り上げる
18	作品完成

教科書等	なし
成績評価	授業態度および学習意欲80%、ダンススキル審査10%、表現力10% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	street dance of china season4 出場、DANCE PRESENTATION UNITYスタッフ・インストラクター、CHIBI UNITY指導、SUGA DANCE INNOVATIONインストラクター、JRA新潟 競馬場CM出演、2016、2017 JDAC全日本ダンス教育指導者指導技術コ ンクールゲスト出演、HILTY＆BOSH 20th anniversary ASIA live Will 出演